

みずほCustomer Desk Report 2024/07/12号(As of 2024/07/11)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】			【昨日の指標等】		
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	161.59	1.0833	175.09	1.2854	0.6752
SYD-NY High	161.76	1.0900	175.42	1.2949	0.6798
SYD-NY Low	157.40	1.0831	171.55	1.2848	0.6745
NY 5:00 PM	158.88	1.0867	172.62	1.2913	0.6760
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	39,753.75	▲ 32.39	日本2年債	0.3300%	0.0000%
NASDAQ	18,283.41	▲ 364.04	日本10年債	1.0800%	0.0000%
S&P	5,584.54	▲ 49.37	米国2年債	4.5130%	▲ 0.1091%
日経平均	42,224.02	▲ 392.03	米国5年債	4.1435%	▲ 0.0931%
TOPIX	2,929.17	▲ 19.97	米国10年債	4.2111%	▲ 0.0701%
ソコ日経先物	41,605.00	▲ 905.00	独10年債	2.4700%	▲ 0.0650%
ロンドンFT	8,223.34	▲ 29.83	英10年債	4.0740%	▲ 0.0495%
DAX	18,534.56	▲ 127.34	豪10年債	4.3760%	▲ 0.0190%
ハンセン指数	17,832.33	▲ 360.66	USDJPY 1M Vol	9.04%	▲ 0.48%
上海総合	2,970.39	▲ 31.02	USDJPY 3M Vol	8.76%	▲ 0.04%
NY金	2,421.90	▲ 42.20	USDJPY 6M Vol	9.04%	▲ 0.21%
WTI	82.62	▲ 0.52	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.30%	Yen Call Over
CRB指数	290.41	▲ 0.71	EURJPY 3M Vol	8.19%	▲ 0.02%
ドルインデックス	104.44	▲ 0.61	EURJPY 6M Vol	8.54%	▲ 0.15%

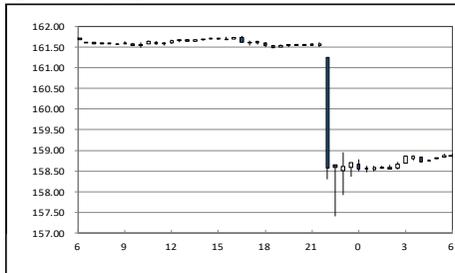
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
7月11日	15:00	独	CPI(前年比)・確報	6月 2.2%	2.2%
	15:00	英	鉱工業生産(前年比)	5月 0.4%	0.6%
	15:00	英	製造業生産(前年比)	5月 0.6%	1.2%
	21:30	米	CPI(前年比)	6月 3.0%	3.1%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	6-Jul 222k	235k
	-	日	神田財務官「介入有無コメントする立場にない」「為替ボラティリティ、安定とは思わず」		

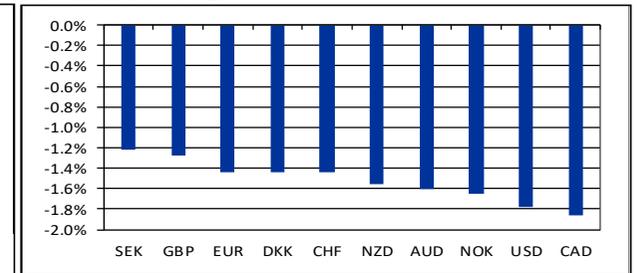
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回	
7月12日	13:30	日	鉱工業生産(前年比)・確報	5月 -	0.3%
	15:45	仏	CPI(前年比)・確報	6月 2.1%	2.1%
	21:30	米	PPI(前年比)	6月 2.3%	2.2%
	23:00	米	ミシガン大学消費者マインド・速報	7月 68.5	68.2
	-	中	輸出(前年比)	6月 8.0%	7.6%
	-	中	輸入(前年比)	6月 2.5%	1.8%
-	中	貿易収支	6月 \$85.30b	\$82.62b	

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	158.80-160.00	1.0800-1.0950	172.50-174.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は急落。注目された米6月消費者物価指数(CPI)は、総合/コアの前月比/前年比すべてが市場予想を下回り、米国債利回りが幅広い年限で低下したことを背景にドル売りが強まり、ドル/円は161円台後半から157.40円まで急落する展開に。その後は下げ渋り、158円台後半まで戻すものの、9月の利下げ予測が昨日の70%台から85%程度まで上昇したこともあり、上値重い推移となって158.88円で引けている。本日のドル/円は底堅い展開を予想。昨日は米CPIの弱い結果を受けて急落、円売りポジションの巻き戻しもあり、157円台まで下げたものの、東京時間早朝は159円台前半まで戻す動きとなっている。一方、東京時間日中も実需の押し目買いが入ると想定されるものの、昨日の急落の局面で、政府・日銀による円買い介入が実施されたとの観測もあり、引き続き介入警戒感には燃えていることから、ドル/円は底堅いものの上値は限られた動きになるかと思われる。

東京	東京時間のドル円は161.59レベルでオープン。海外時間の米CPI公表を控えて積極的にポジションを傾ける動きは限られ値幅30銭以内の小動きとなったが、日経平均の史上最高値更新やクロス円の堅調推移を横目にドル円もじり高となり、161.75まで上値を拡大。結局、161.71レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、161.71レベルでオープン。午後に米指標を控える中、小動きながら全般にドルが弱含む展開。161.48まで売られ161.54レベルでNYに渡った。欧州株も小幅ながら堅調推移だった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は161円台半ばでスタート。注目の米6月CPIの結果発表を控え、様子見姿勢が広がり、161.60付近を挟んだ狭いレンジ推移が続き、161.54レベルでNYオープン。朝方に発表された米6月CPI(前月比)は予想を下回り、米インフレの鈍化傾向が見られ事から、9月の利下げ期待が強まり、市場はドル売りに反応。その後、一部で報道された本邦当局による為替介入らしき動きも相まって、一時157.40まで下落。その後は下げ渋り、徐々に158.60付近まで戻す。午後は為替介入への警戒感が依然残る中、158.80付近を中心とした値動きが続き、その後158.88レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台前半でスタート。独金利が上昇する展開を横目にじり高で推移し、1.0855レベルでNYオープン。朝方に発表された米CPIが予想を下回った事を受け、米金利の低下に伴ったドル売りが優勢の中、1.0900まで上伸。その後はドル売り一巡となり、1.0870付近まで反落。午後米ドルの買い戻しが重しとなり、1.0860付近まで続落し、1.0867レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。